

授業科目名【科目コード】 音楽Ⅳ 声乐【1137】 器楽【1138】	教員の免許状取得 のための必修科目	単位数 1単位	担 当 教員名 担当形態	声乐担当教員、器楽担当教員 クラス分け	対象 区分	すべて	-	-
科 目		教科に関する科目(幼二種免)						
施行規則に定める科目区分		・音楽						
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>より高度な歌唱技法の習得。「音楽Ⅲ」で学んだ歌唱の知識や技術の更なる向上を目的とする。これまでに習得した幼稚園の教育に必要な音楽の知識・技能を、ピアノのレッスンを通してさらに確かなものにしていく。また、日常の教育活動ならびに個人指導によるレッスンを通じて幼児教育の音楽的表現の基礎的技術力を養う。主に、「子どもの歌」の弾き歌いを練習し、レパートリーを増やすことで多くの曲による表現方法を習得する。</p>								
<p>授業の概要</p> <p>歌唱法の習得として発声法を学習し、読譜力・音程・リズムの理解と実践を行う。そして童謡、日本歌曲、外国歌曲で歌唱法を学ぶ。ピアノは、演奏のより高度な知識・技能を個人指導で学ぶ。</p>								
<p>授業計画</p> <p>第1回：発声法、階名唱、発音の理解と実践 第2回：音程重視の歌唱練習、発声法 第3回：リズム重視の歌唱練習 第4回：子守歌の歌唱練習 第5回：わらべ歌の歌唱練習 第6回：民謡の歌唱練習 第7回：和音記号、和音進行、子どもの歌の伴奏付け 第8回：歌詞の理解と表情豊かな歌唱（仕上げ） 第9回：次の(A)(B)の楽曲について、事前学習</p> <p>の成果を発表する (受講までにしっかりと学習しておくこと) (A) 子どもの歌(弾き歌い)を2曲 ※「音楽Ⅲ」で選択したテスト曲は除く 教科書「子どもの歌200」の中から選択すること。なお、次の番号の楽曲は除く No.1～32、32～40、42、43、48～50、 52、60、61、63、66、153～155、157 (B) 各自が選択したピアノ曲1曲を暗譜する ※「音楽Ⅱ」「音楽Ⅲ」で選択したテスト曲は除く</p> <p>ただし、クラシックジャンルのピアノ曲とし、全演奏時間は5分以内で完結する曲とする また、次の楽曲を除く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイエル教則本の終了レベルより難易度が低い曲 ・簡易楽譜によるもの ・ツェルニー練習曲 ・ブルグミュラー 25の練習曲のNo.1～3 ・対位法楽曲 ・自作曲 <p>なお、バイエルを終了しない場合や、ピアノ初心者は、次の指定する6曲のバイエル教則本から2曲を選択して暗譜すること 原書番号のNo.81、93、94、96、98、102</p> <p>第10回：子どもの歌(弾き歌い)とピアノ曲のレッスン① 第11回：子どもの歌(弾き歌い)とピアノ曲のレッスン② 第12回：子どもの歌(弾き歌い)とピアノ曲暗譜のレッスン① 第13回：子どもの歌(弾き歌い)とピアノ曲暗譜のレッスン② 第14回：試験曲の決定と試験曲のレッスン 第15回：試験と今後の学習に向けたアドバイス</p> <p>試験曲 子どもの歌(弾き歌い)2曲・ピアノ曲 1曲 (バイエルは2曲) ※ピアノ曲1曲(バイエルは2曲)は暗譜とする</p> <p style="text-align: center;">※曲の指定を読み間違えないように注意してください。</p>								
<p>テキスト</p> <p>「幼稚園教育要領」 『世界名歌曲全集』(有)ケイ・エム・ピー kmp 発行 本体2,000円(税別) 『ピアノ伴奏 日本童謡唱歌全集～心に残る日本の歌～』(有)ケイ・エム・ピー kmp 発行 本体2,000円(税別) 『バイエル教則本』(新規に購入する場合は、『標準バイエル・ピアノ教則本』全音楽譜出版社 発行 本体900円(税別)を購入すること) 「各自が選択した自由曲」</p>								
<p>参考書・参考資料等</p> <p>受講する題曲および自由曲の楽譜、「幼稚園教育要領解説」、「小学校学習指導要領解説 音楽編」(文部科学省)</p>								
<p>学生に対する評価</p> <p>受講までの学習の様子や受講態度、試験により、総合的に評価する。</p>								
<p>持参物</p> <p>上記テキスト 五線紙</p>								